

平成31年3月22日  
平成30年度第2回  
春日井市都市計画審議会

## 報告事項

春日井市都市計画マスタープラン（素案）について

## 序章 都市計画マスタープランの策定について ..... 序-1

- 1 都市計画マスタープランとは ..... 序-1
- 2 都市計画マスタープランの位置づけ ..... 序-2
- 3 策定体制 ..... 序-3
- 4 策定方針 ..... 序-4
- 5 計画の構成 ..... 序-5
- 6 計画期間 ..... 序-5

## 第1章 現況と課題 ..... 1-1

- 1 位置づけ ..... 1-1
- 2 都市の現況 ..... 1-2
- 3 都市づくりの課題 ..... 1-28

## 第2章 全体構想 ..... 2-1

- 1 都市づくりの基本理念・目標 ..... 2-1
- 2 将来フレーム ..... 2-7
- 3 将来都市構造 ..... 2-10
- 4 分野別のまちづくり方針 ..... 2-12

今回の報告箇所

## 第3章 地域別構想 ..... 3-1

- 1 南部地域 ..... 3-
- 2 西部地域 ..... 3-
- 3 中部地域 ..... 3-
- 4 中東部地域 ..... 3-
- 5 中北部地域 ..... 3-
- 6 東部地域 ..... 3-
- 7 北部地域 ..... 3-

## 第4章 まちづくり推進方針 ..... 4-1

- 1 基本方針 ..... 4-
- 2 まちづくりの実現に向けた取組み ..... 4-

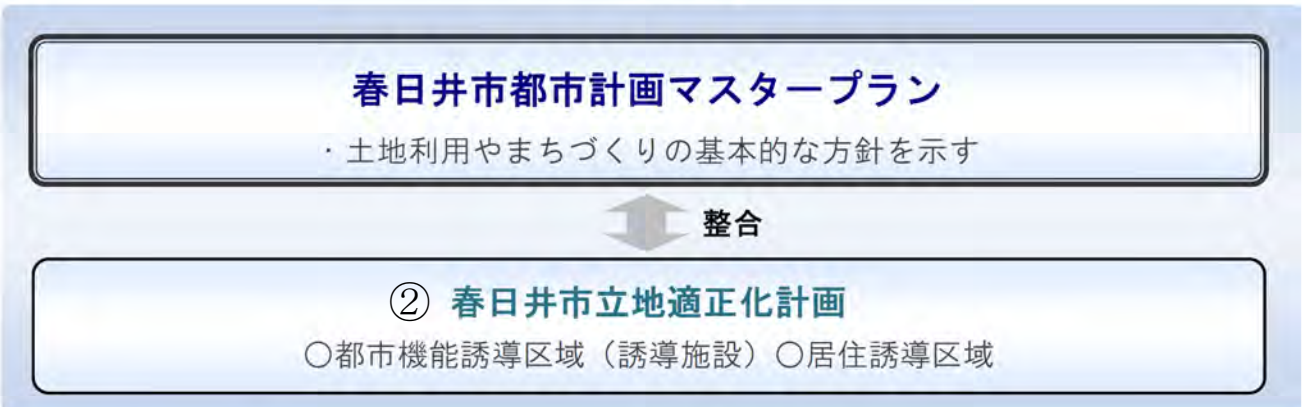
## 2 都市計画マスタープランの位置づけ

[資料1 序-2]

### ① 上位計画

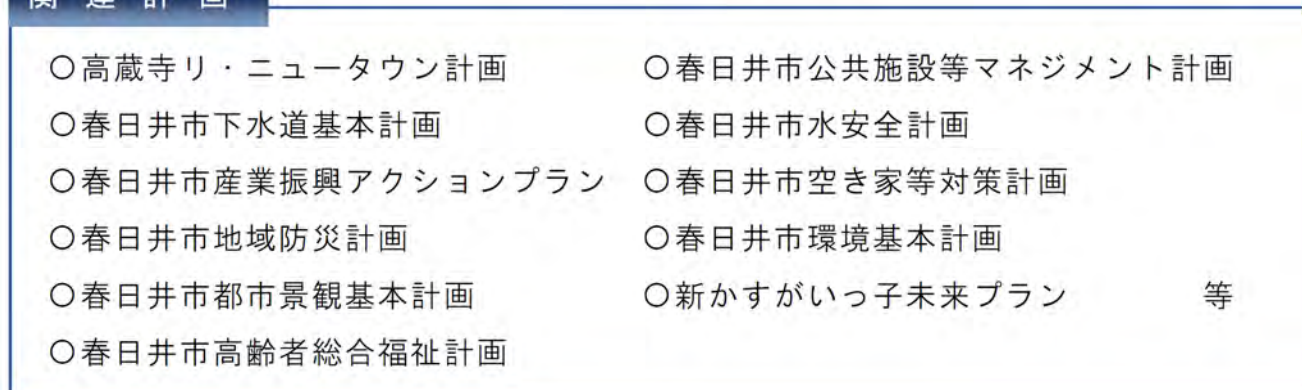


↓ 即す



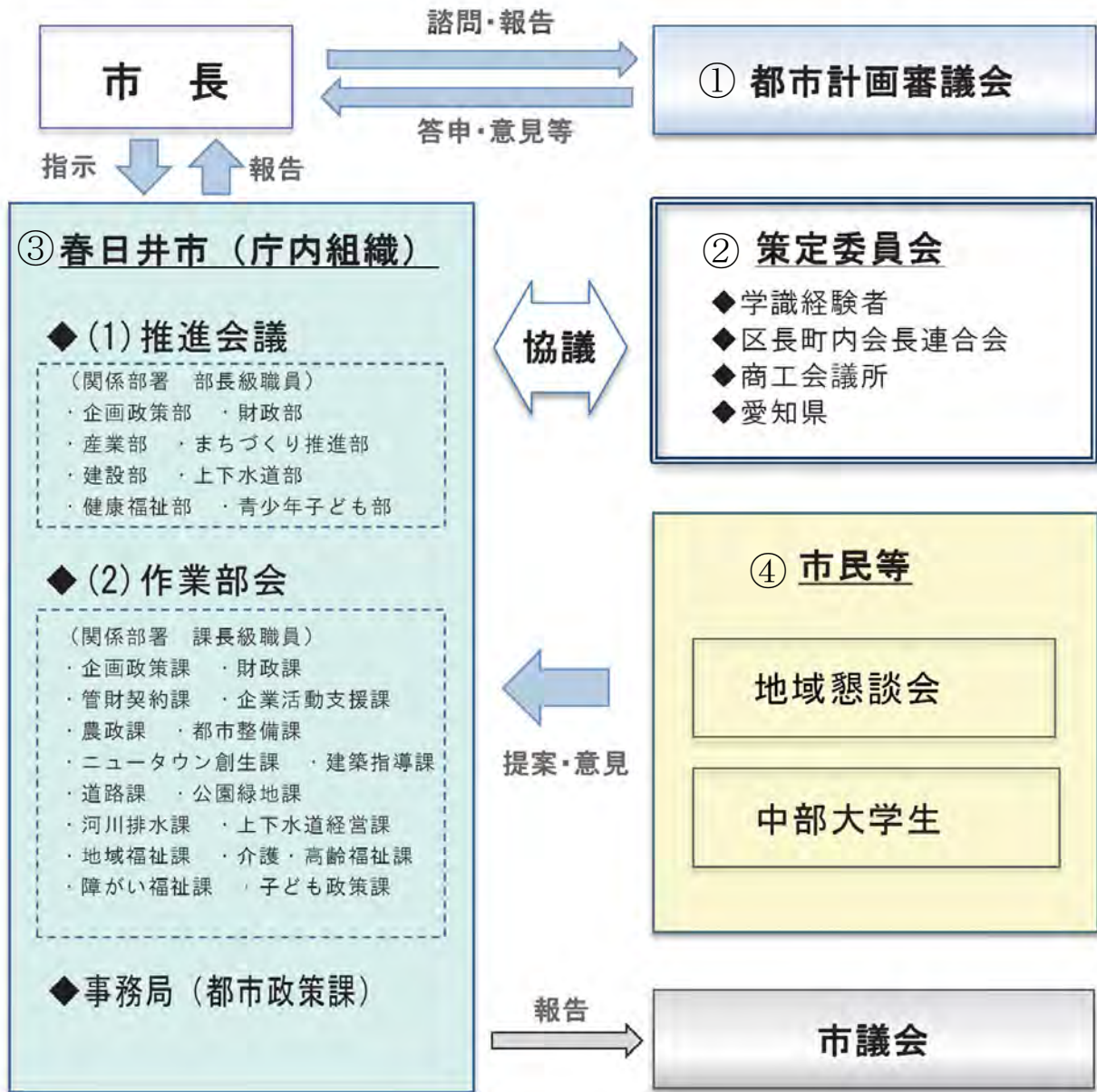
⇕ 連携・整合

### ③ 関連計画



### 3 策定体制

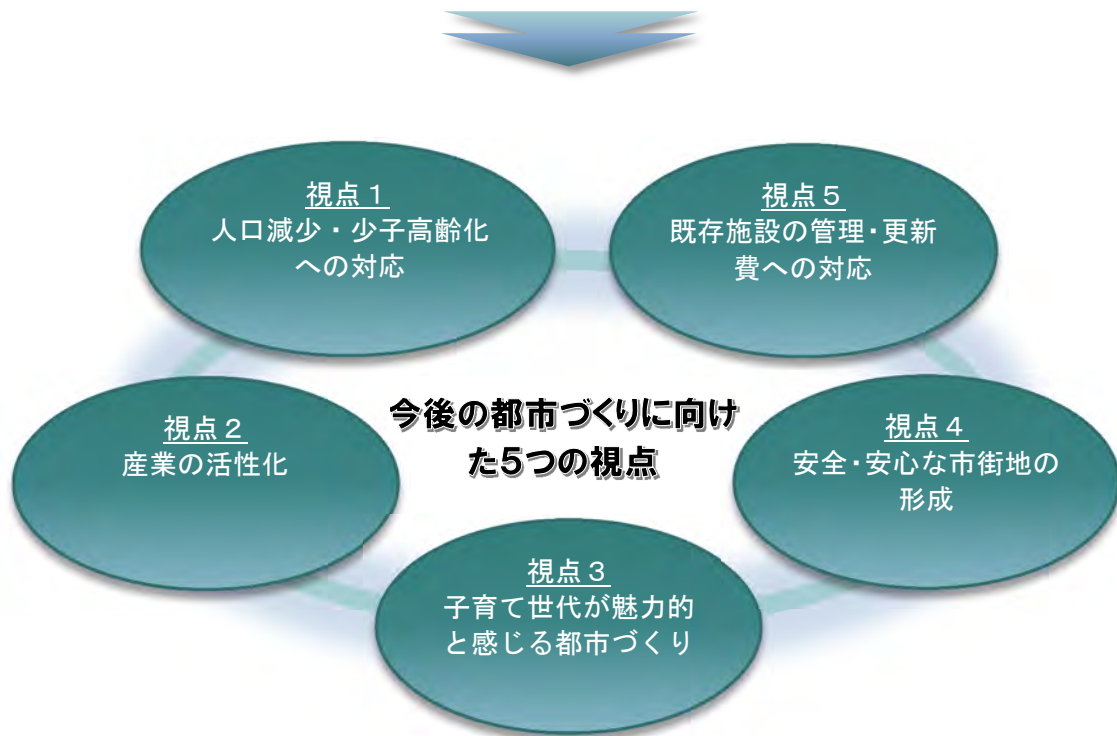
[資料1 序-3]



## 4 策定方針

[資料1 序-4]

都市計画マスタープラン策定に向けた視点の整理	
<b>1. 人口動向について</b>	今までの人口増加に伴う住宅地の提供や工業、商業地の提供を進めてきたなか、今後の人口動向を的確に捉え、どのような土地利用、市街地整備（高蔵寺ニュータウンの対策等）を目指していくか検討が必要です。
<b>2. 産業について</b>	活力と雇用を生み出す産業振興を図るため、利便性の高い広域的な交通を活かした効果的な産業基盤の創出が必要です。
<b>3. 子育て世代にとっての魅力向上について</b>	子育て世代にとって住みたく魅力的な住環境を提供するため、効果的かつ戦略的な土地利用、市街地整備（拠点整備）の実現が必要です。
<b>4. 安全・安心について</b>	市民が安心して暮らし続けることができる住環境を提供するため、生活道路等の歩行環境の改善や、水害に対する安全な住宅地の形成など、地域の実情に応じた都市基盤の実現が必要です。
<b>5. 公共施設等について</b>	公共施設の継続的な維持・更新をするためには、効果的な財政投資を実施していくことが必要となります。また、既存ストックを有効活用して魅力的な都市づくりに繋げていくことが必要です。





## 5 計画の構成

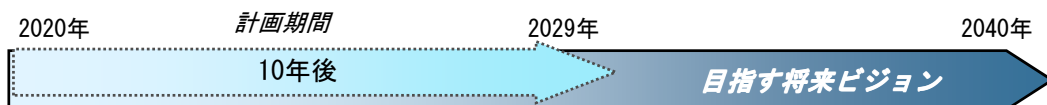
[資料1 序-5]



## 6 計画期間

[資料1 序-5]

都市の将来像については、概ね20年後の2040年を目指しつつ、本計画の目標年次を10年後の2029年とします。なお、土地利用や都市計画に関わる社会情勢の変化などにあわせ、必要に応じて、適宜見直しを図ります。

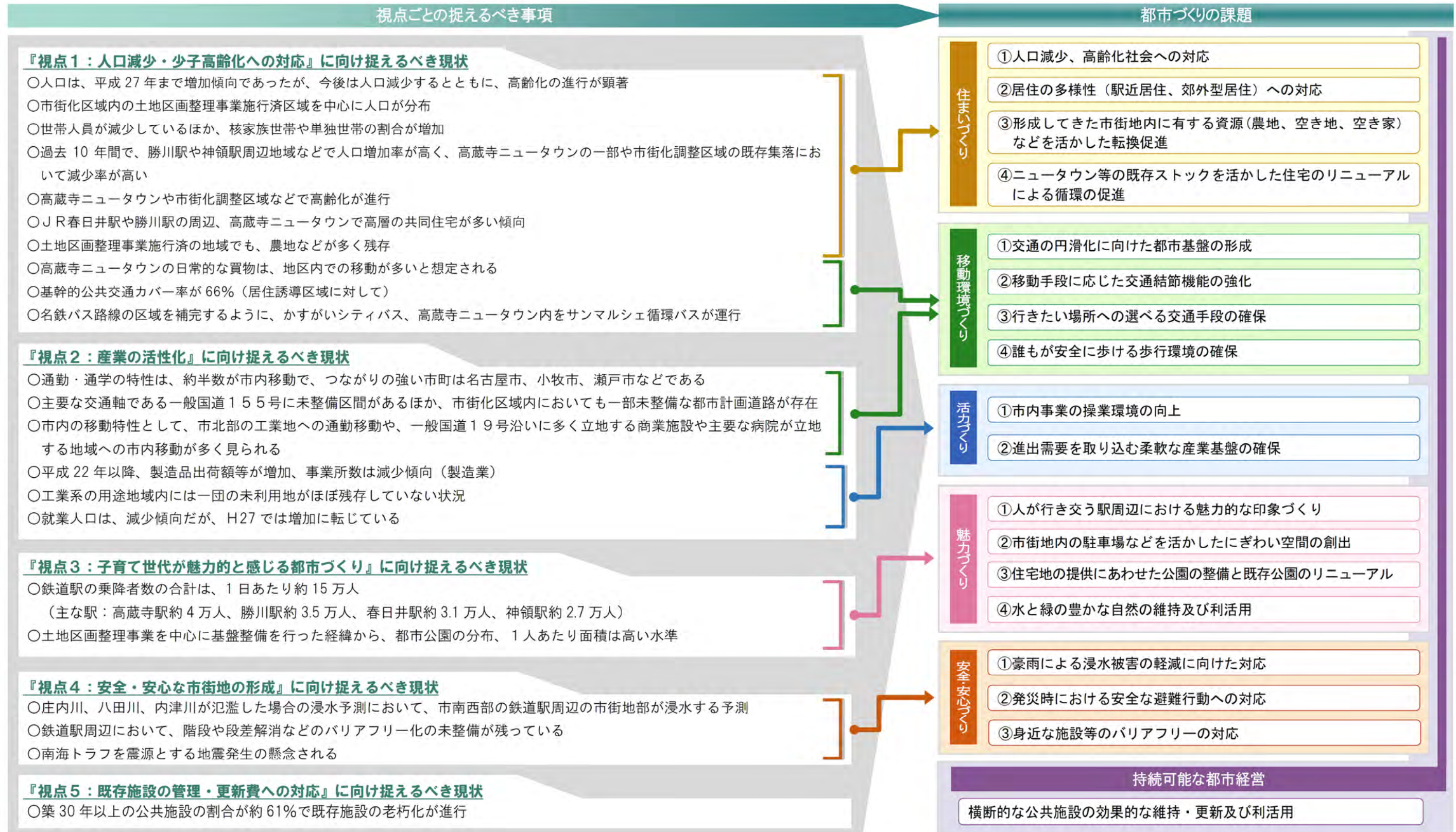


## 7 都市づくりの課題

[資料1 1-28]

### (1) 都市づくりの課題

都市づくりの課題は、捉えるべき社会情勢、現況調査における地域特性を整理するとともに、市民意見公募や地域懇談会などを参考に、対応すべき都市づくりの課題を整理します。





[資料1 2-2]

体系図 【課題 ⇒ 都市づくりの基本理念・目標 ⇒ 分野別のまちづくり方針】

今後の都市づくりに向けた5つの視点

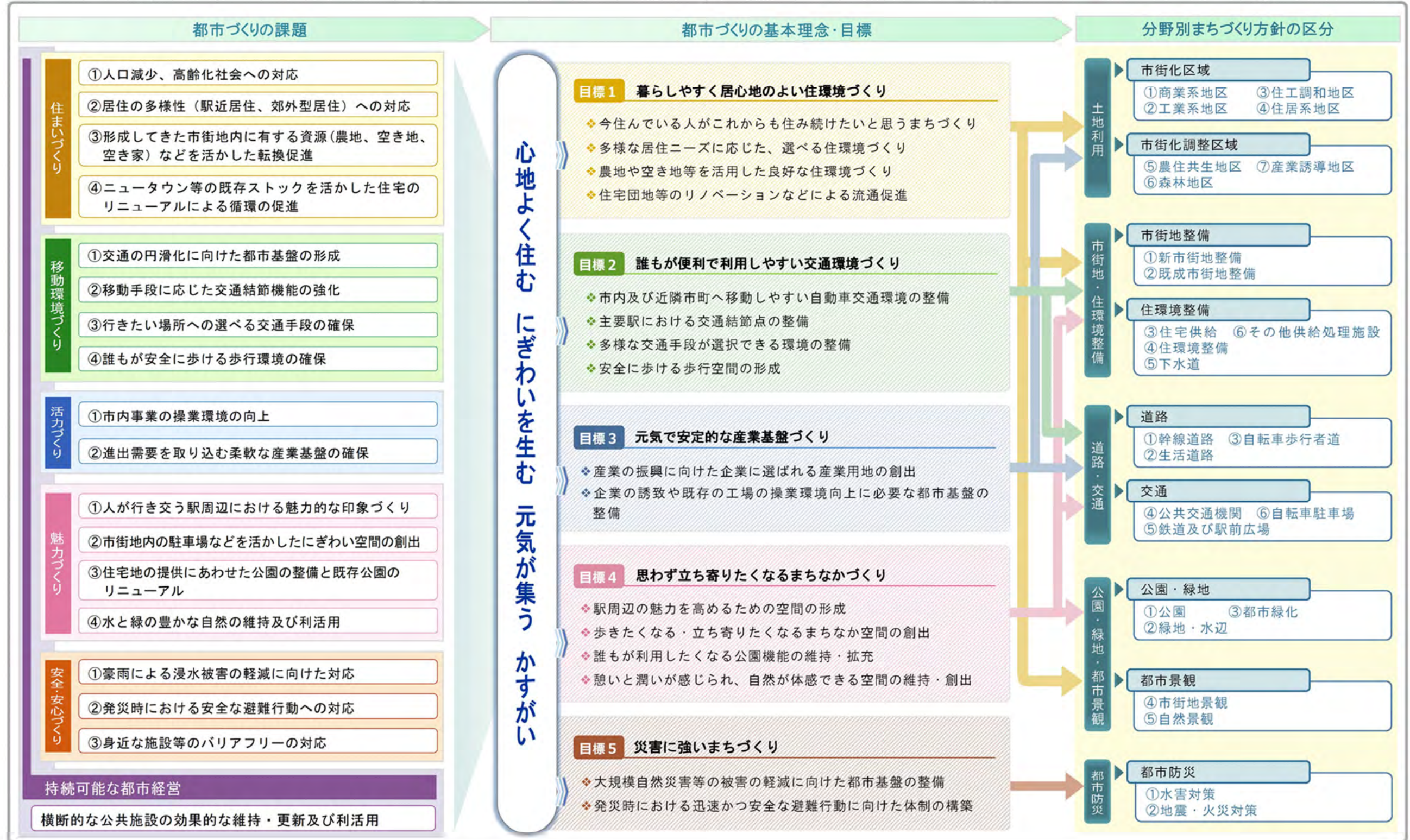
視点1  
人口減少・少子高齢化への対応

視点2  
産業の活性化

視点3  
子育て世代が魅力的と感じる都市づくり

視点4  
安全・安心な市街地の形成

視点5  
既存施設の管理・更新費への対応





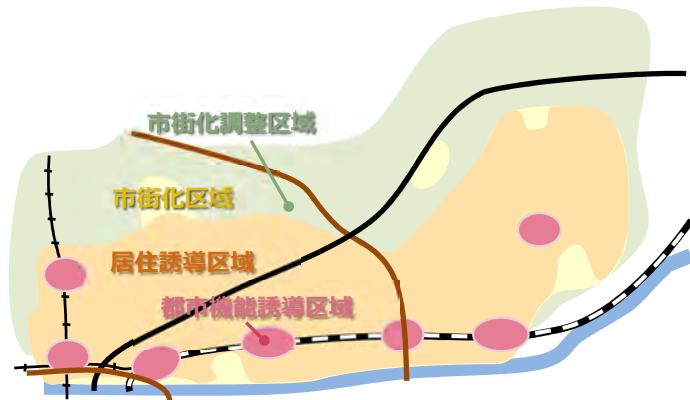
## 9 将来都市構造のイメージ

[資料1 2-10]

### 目指す都市構造のイメージ

自家用車に依存しなくても  
快適に暮らせる都市構造の  
構築を目指します

※「都市機能誘導区域」及び「居住誘導区域」は、立地適正化計画において位置づけた区域



鉄道駅などの交通結節点周辺については  
(主に都市機能区域内)

- 利便性の高い鉄道駅などの交通結節点周辺は、都市機能の集約により、拠点の魅力を高めます。

バス路線沿線などの生活利便性が高い地域については  
(主に居住誘導区域内)

- 利便性を活かした生活利便施設の立地に向けた土地利用の促進を図るとともに、人口の集積を目指します。

その他、良好な市街地が形成されている地域については  
(主に郊外の住宅地)

- 都市基盤を維持することで良好な住環境を維持するとともに、市中心部の拠点との移動利便性を維持します。


















# 10 将来都市構造図

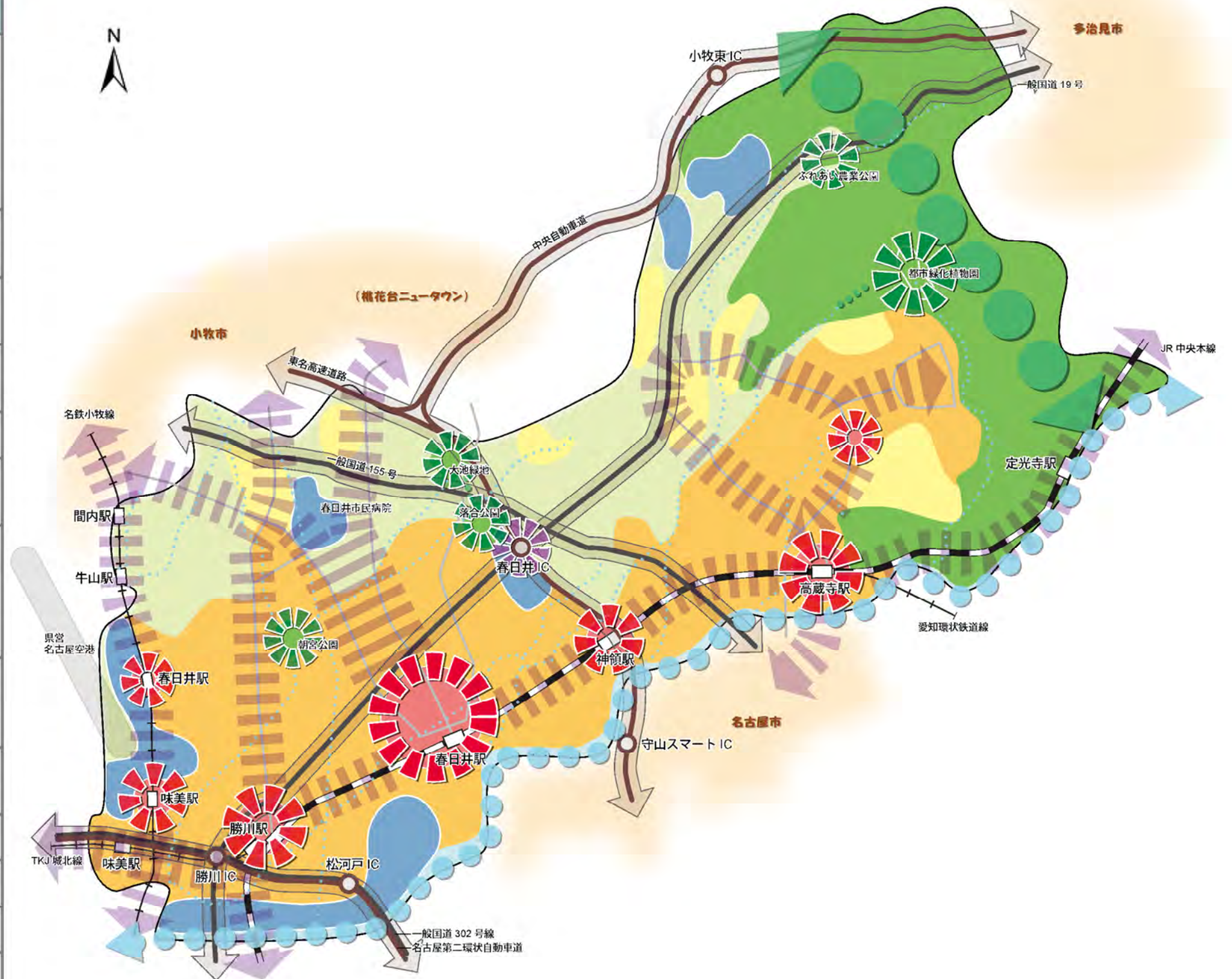
[資料1 2-11]

## (2) 将来都市構造

将来都市構造は、前述した考え方をもとに、都市機能の維持・集約を目指す拠点と資源の保全・活用を目指す軸を各地域に位置づけるとともに、これまでの市街地形成を踏まえた適正な土地利用のゾーニングを位置づけ、次のとおり図示します。

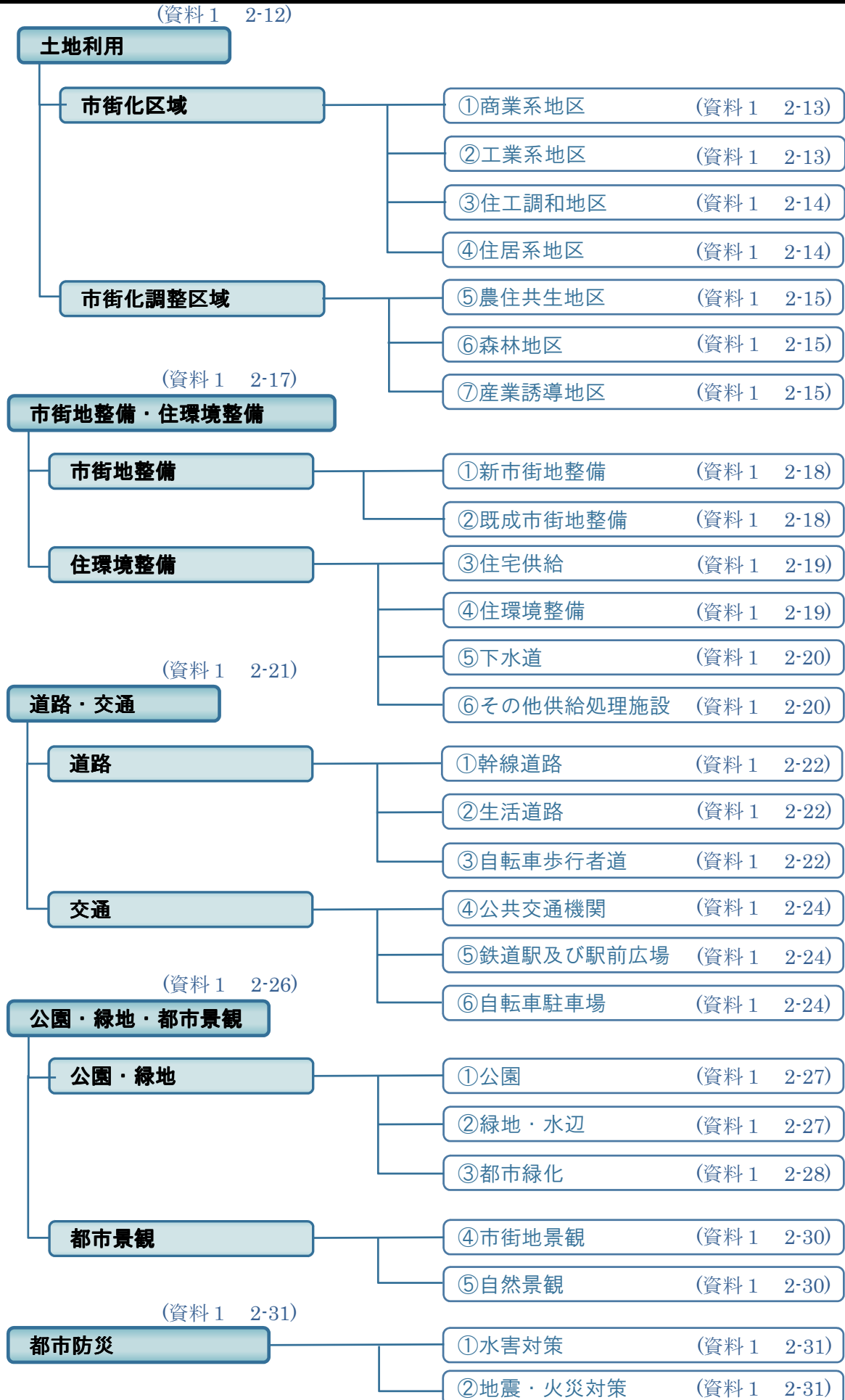
### ◆将来都市構造の構成要素の概要

種別	位置づけ
 工業ゾーン	工場地として利便性を高めるための土地利用を誘導する地域を目指します 住宅地に隣接する地域は、緩衝緑地や敷地内緑化を充実させ、住環境と調和した職住近接の地域を目指します また、新たな産業系の土地利用を誘導する地域として、周辺の環境に配慮した地区の形成を目指します
 一般住宅ゾーン	良好な住環境を維持・充実を図るため適切な土地利用の規制・誘導を図る地域を目指します
 居住促進ゾーン	既存の都市基盤による利便性を活かし、住みたくなる地域づくりに向けた土地利用の促進を目指します
 商業ゾーン	土地の高度利用を図り、商業などの利便性を高めるための土地利用を誘導する地域を目指します
 農住共生ゾーン	優良な農地の保全と、住環境の保全のため、土地利用の維持・活用を目指します。
 公園・緑地ゾーン	自然資源を保全するとともに有効に活用し、憩いを与え交流の場となる公園・緑地の形成を誘導する地域を目指します
 都市交流拠点	鉄道駅やバスターミナルを中心とした交流の玄関口となる拠点として、日常生活の利便に資する商業の集積を図ります。JR春日井駅周辺及びJR勝川駅周辺については、鳥居松周辺にかけて行政、文化施設の集積も図ります
 緑の拠点	自然レクリエーションの中心となる拠点として、四季折々の花木や草花を觀賞できるなど自然とふれあうことのできる場の形成を図ります
 広域交通拠点	都市間の広域交通の拠点として、インターチェンジ周辺という交通利便性を活かした産業の形成を図ります
 自動車交通軸	本市の広域交通ポテンシャルの骨格となる道路網の形成を図ります
 公共交通軸	市内及び隣接市との多様な交通手段の提供に向け、利便性の高い交通軸の形成を図ります
 うるおい軸	水と緑に親しめる憩いの場となるよう、魅力ある空間として整備を促進する河川や緑道
 緑のスカイライン	緑を保全し、連続性のある稜線のスカイラインを守る地域





# 1 1 施策の分類



## 12 地域懇談会

### (1) 募集方法

- ア 市広報（10月1日号）及びホームページによる周知
- イ 各ふれあいセンター等へのチラシ設置
- ウ 子育てメールマガジン配信
- エ 区長町内会長連合会への参加者推薦依頼

### (2) 会場・開催日時

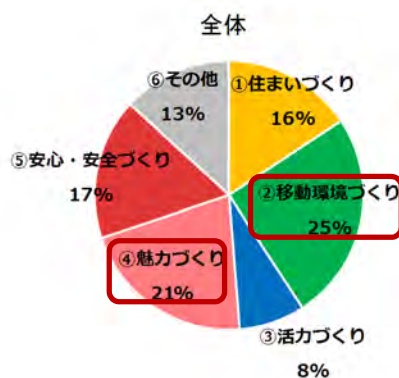
対象地域（中学校区）	会場	開催日時	
味美・西部・知多	西部ふれあいセンター	第1回	11月10日（土）午前10時～
		第2回	12月15日（土）午前10時～
柏原・鷹来・中部	レディヤンかすがい	第1回	11月17日（土）午後1時30分～
		第2回	12月16日（日）午前10時～
東部・南城・松原	グリーンパレス春日井	第1回	11月17日（土）午前10時～
		第2回	12月16日（日）午後1時30分～
坂下・高森台・石尾台 藤山台・岩成台・高蔵寺	グループふじとう	第1回	11月10日（土）午後1時30分～
		第2回	12月15日（土）午後1時30分～
		参加者数	延べ212名

### (3) 第1回地域懇談会

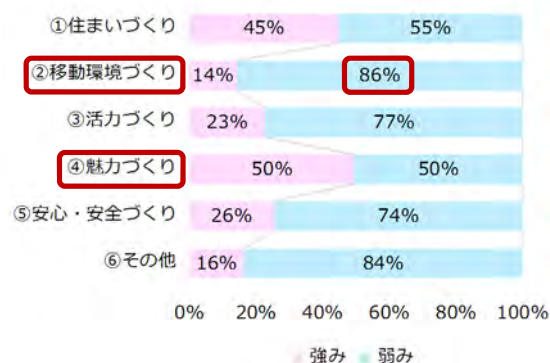
#### ■主な意見

- ❖②移動環境づくりに関する意見は、5つのキーワードのなかで意見数が最も多く、さらに『弱み』の意見数の割合が約86%と最も高かった。具体的には、「渋滞・事故が多い」などの交通問題や「バスの本数が少ない」など公共交通の不便さに対する意見が多かった。
- ❖次いで意見数が多かった④魅力づくりは、『強み』と『弱み』の意見数の割合が半々であり、『強み』では、「自然が豊富」、「公園が多い」など、緑の充実さを魅力と捉えている意向が多かった。一方、『弱み』では、「賑わいが無い」、「資源を活かせていない」などの意見が見られた。
- ❖その他、①住まいづくりでは、静かな住環境を『強み』として実感している一方で、『弱み』として空き家や空き地に対する問題意識も高い傾向が見られた。⑤安心・安全づくりでは、災害に強いと実感している意見がある一方で、災害時の避難体制や空き巣などの犯罪を心配する声も多かった。③活力づくりでは、商業や農業の衰退に対する意見が多く見られる結果となった。

#### ■意見の割合



キーワード別の意見数の割合



キーワード別でみた『強み・弱み』の意見数の割合



#### (4) 第2回地域懇談会

##### ■主な意見

- ❖ 『残すべきもの』は、静かな住環境や自然・公園などの緑に関するものが多い結果となった。
- ❖ 『変えるべきもの』は、第1回で意見が多かった交通環境の改善を求めるものが多い結果となった。
- ❖ 『地域でできること』は、伝統行事の継承、地域イベントの計画、防災・防犯意識を高める取り組みなどについての意見が多かった。また、それらの活動のために多世代交流や若者世代の育成に必要性を感じている意見も多く見られた。
- ❖ 『まちづくりのキーワード』は、約半数の中学校区で「住みやすい」が含まれる結果となった。

##### ■『残すべきもの・変えるべきもの』、『地域でできること』に関する意見の一例

『残すべきもの・変えるべきもの』に関する意見の一例		『地域でできること』に関する意見の一例
『残すべきもの』	『変えるべきもの』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでまちを作る意識を高める</li> <li>・住んでいる地区のよさを伝えていく</li> <li>・空き家の見守り</li> <li>・若い世代の育成</li> <li>・地域で子育てに協力する</li> <li>・地域全体で防災について考える</li> <li>・見回り散歩</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音がない静かな住環境</li> <li>・自然環境を守りたい</li> <li>・緑道や自然を大事にする</li> <li>・子育てがしやすい環境</li> <li>・農業、農地を守りたい</li> <li>・町内の伝統的な文化、活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の改善</li> <li>・商業施設を誘致する</li> <li>・公園の有効活用</li> <li>・町内会のあり方、連携意識</li> <li>・“書のまち”とわかるシンボルをつくる</li> </ul>	

##### ■各中学校区の『まちづくりのキーワード』

中学校区	まちづくりのキーワード
味 美	交通の便が良い+町内会の活性化=住みやすいまち
西 部	共有と交流
知 多	公園多く住みやすい
柏 原	住環境の維持
鷹 来	明るく・住みやすい・やさしいまち -自然・地域のイベント・清潔感・子育てしやすい-
中 部	駅周辺・コミュニティ・防災・インフラ
東 部	「歴史を大切に」「交通利便性を高くする」「商店街の活性化する」
南 城	インフラ整備（交通アクセス）・中部大との共存
松 原	住みやすい環境の維持
坂 下	企業誘致と自然のバランス
高 森 石 尾 台	全世代交流・住みよい街
藤 山 台	緑を大切にした地域コミュニティの強いまちづくり
岩 成 台	大切な自然を残しながら高蔵寺を変革させていこう！！
高 蔵 寺	住みやすいまち

### 13 今後のスケジュール

平成31年3月22日 平成30年度第2回都市計画審議会

2019年（平成31年）9月 パブリックコメントの実施（予定）

2020年3月 公表（予定）